

## 目標達成計画

作成日：平成 25年 9月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	日々のアセスメントと意識の下連絡ノートの中で様々な情報を職員間で共有しているが再アセスメントが行われていない状況です。	回想法等で得られた情報を職員間で共有されているが、それらの情報を活かして再アセスメントが行えるようになる。	再アセスメントが行えるように回想法や連絡ノートの利用者様の情報をまとめられるようアセスメントシートを作成して再アセスメントに活かせるようになる。	6ヶ月
2	35	火災や地震、災害時のシュミレーションは行っているが実際の避難訓練の実施が出来ていない。	今年度は、年2回の避難訓練を行えるように努力したい。まずは、昼間を行い次に夜間の避難訓練を行いたい。	新たな避難訓練用マニュアルを作成して、初めは職員と利用者様で避難訓練を行う。	6ヶ月
3	43	排泄リズム表を活用して尿意の無い人には随時声掛けや誘導を行い昼間はなるべく失禁を減らすように行っているがオムツやリハビリパンツも利用している。	排泄の失敗やオムツの使用を減らし一人ひとりの力や排泄のパターン習慣を活かしてトイレでの排泄や排泄の自立を支援する。	個々の排泄リズム表を今以上に活用して個々を理解して排泄の失敗やオムツの使用を減らしていく。	6ヶ月
4	36	利用者様一人ひとりをしっかり把握するように努力しているが馴れ合いなどで不適切な対応が見られた場合は、その都度職員間で注意している。	利用者様一人ひとりの人格を尊重し誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をする。	研修や回想法、生活歴や職業歴などの情報を今以上に集めて共有して個々に合わせた対応を統一して行う。	6ヶ月
5	23	認知症の進行や体力低下により思いや意思決定が難しくなってきたり、本人本位が行いにくくなっている。	出来る限り本人本位になるよう努力する。	担当者が中心となって日々の関わりの中で得た情報や回想法を実施する中で引きだした情報を今以上に活用できるよう職員間のミーティングを密に行う。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。